

生活クラブ福祉基金報告集会
『つながりから生まれるたすけあい』

福祉基金は、地域に暮らしている市民が必要な福祉のサービスや活動をつくっていく「市民参加型福祉」を進める目的で生活クラブが作ったしくみです。福祉を取り巻く現状は、超少子高齢化が進み、介護保険制度も改悪が危惧される等厳しい状況です。やはり、福祉の原点「たすけあい」がますます大切になり、実践と応援をする福祉基金の役割は大きくなってきます。

2026年度の報告集会は、地域でたすけあいを作っていくヒントを得て、市民参加型福祉を拡げるイメージをもって開催します。

【日時】　12月5日（土）13：30～16：15
【場所】　札幌エルプラザ　大研修室
（北区北8条西3丁目）
【託児】　11月27日（金）までにお申し込みください。

【申込・問い合わせ先】 QRコードまたは電話にてお願いします。
生活クラブ本部/福祉活動課　電話：011-887-8891

【内容】
- **基調講演**
- **福祉基金の概要等について**
- **2026年度福祉基金助成団体報告（9団体）**
- **福祉基金を使った事業・活動の報告（3団体）**
- **まとめ**

終了後、会場を解放しますので交流することができます。



講師　片山めぐみ氏
（NPO法人 地域ケアコミュニティ研究所　代表理事）

大学教員として20年間勤務した後、地域を舞台とした研究と実践に取り組む。地域福祉とデザインを専門とし、不登校の子ども、高齢者、孤立しがちな人々が互いを理解し、役割や居場所を持って社会に参加できる地域づくりに力を注ぐ。

＜講演内容＞
“ちょっとだけ手助け”で人はつながる

片山めぐみさんには、2024年に「“多世代の居場所づくり”から“たすけあいの地域づくり”へ」をテーマに講演をいただきました。居場所って何？、居場所の作り方をお聞きし、豊平区で生活クラブの居場所づくりをスタートしました。

私たちは、居場所づくりを通して、『たすけあい』を作っていきたいと思っています。そこで今回は、地域の中で、「知らない人」が「顔見知り」になり、「また会いたい人」へと変わっていくきっかけをつくることを話していただき、たすけあうためのつながりづくりを学んでいきたいと思います。

「居場所」とは何か？　片山さんが実践している地域づくりや居場所づくりの事例を紹介していただきます。

＜2026年度助成先団体名＞

1	NPO法人 いしかり地域共生ラボ	石狩市
2	NPO法人 CAN	札幌市豊平区
3	NPO法人 子育て応援かざぐるま	札幌市中央区
4	さっぽろあすぴす	札幌市厚別区
5	NPO法人 nicon	札幌市手稲区
6	ふきのとう文庫	札幌市中央区
7	北海道低肺の会	札幌市中央区
8	労働者協同組合 たすけあいワーカーズ そよ風	札幌市東区
9	ワーカーズひなたぼっこ	岩見沢市

福祉基金
賛同者募集中！

★たすけあいを広げるため、福祉基金への賛同をお願いします。下の賛同書を切り取り配達便で本部福祉活動課へ提出してください。

・毎月の共同購入代金とともに毎月 100 円が引き落としになります。
・福祉基金への賛同は随時受け付けています。
・すでに賛同されている方は再度提出する必要はありません。

生活クラブ福祉基金賛同書

この賛同書を切り取り配達便で本部福祉活動課へ提出してください。

支部＿＿＿＿＿＿　組合員コード＿＿＿＿＿＿
名前＿＿＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿＿＿

私は生活クラブ福祉基金に賛同し、毎月100円を拠出します。